

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ イ コ ー
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 名 屋 佑 一 郎
 (コード番号 : 6 7 8 7 J A S D A Q)
 問 合 せ 先 渉 外 部 二 宮 政 士
 T E L 0 4 6 7 - 7 6 - 6 0 0 1

連結業績予想と実績値との差異、個別業績と前期実績値との差異、営業外費用（為替差損）の計上および特別損失（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、平成 27 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、個別業績における前年実績値との差異、営業外費用（為替差損）の計上および個別決算における特別損失を計上いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異
 （平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	百万円 93,100	百万円 2,400	百万円 400	百万円 △9,800	円 銭 △374.42
実 績 値 (B)	95,287	3,325	△491	△11,250	△429.83
増 減 額 (B-A)	2,187	925	△891	△1,450	
増 減 率 (%)	2.3	38.5	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	90,895	△2,865	1,075	△9,573	△365.76

2. 平成 28 年 3 月期 通期個別業績の前期実績値との差異
 （平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A)	百万円 36,696	百万円 △1,331	百万円 3,618	百万円 △6,338	円 銭 △242.17
当 期 実 績 (B)	36,867	△715	△2,494	△10,715	△409.40
増 減 額 (B-A)	171	616	△6,112	△4,377	
増 減 率 (%)	0.5	—	—	—	

3. 差異が生じた理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、自動車向けおよびスマートフォン向けの販売が好調に推移したことにより前回公表の予想を上回り、営業利益につきましても、全社を挙げた取組みによる歩留り問題の解消および経営体質改善のために実施した事業構造改革による効果等により、前回公表の予想を上回ることができました。一方、連結経常利益につきましては、円高による為替差損の計上により、前回公表の予想を下回る結果となりました。

(2) 個別業績

売上高につきましては、前年並みの実績となりましたが、営業利益につきましては、歩留り改善や事業構造改革による固定費改善効果等により、前年実績を上回ることができました。一方、営業外費用として為替差損の計上、また、特別損失として子会社に対する貸倒引当金繰入額を計上したことにより、経常損失および当期純損失は前年実績を下回る結果となりました。

4. 営業外費用（為替差損）の内容

平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、ドル円の為替相場の変動により連結決算において 1,818 百万円、個別決算において 1,430 百万円の為替差損を計上いたしました。

なお、上記の金額は、おもに当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価替えで発生したものです。

5. 特別損失（個別）の内容

平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の個別決算において、当社が保有する関係会社債権について、関係会社貸倒引当金繰入額 6,185 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該関係会社貸倒引当金繰入額は全額連結消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

以 上